

もくじ

- ・ おやゆびひめ

おやゆびひめ

げんさく： アンデルセンどうわ

イラスト： いなとめ まきこ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

3

むかし、ある むらに、
ひとりの わかい じょせいが すんでいました。
ひとりぼっちだった かのじょは、
こどもが ほしいと、まいにち かみさまに
おいのりをしていました。

そのかのじょの ねがいが ききいれたのか、
あるばん、かのじょの ゆめのなかに、
かみさまが あらわれました。

かみさまは かのじょに、
ひとつぶの『はなのたね』を あたえました。

『このたねを まいて、たいせつに そだてなさい。
きっと すばらしいことが おこりますよ』

よくあさ、めをさました かのじょの てには、
しっかりと、はなのたねが にぎられていました。
かのじょは さっそく、たねを にわに うえて、
まいにち みずをやり、だいじに そだてました。



はるになると、たねから めがでて、やがて、あかいつぼみが ひとつ できました。かのじょは つぼみに かおをちかづけて、くちづけをしました。すると どうでしょう。つぼみが ゆっくりと ひらきはじめ、なかに、ちいさな ちいさな おんなのこがはいっていたのです。

おんなのこは、ふつうのひとの おやゆびほどの おおきさしかなかったので、

『おやゆびひめ』と なづけられました。

おやゆびひめは、いつも テーブルのうえで、にわに やってきた ことりたちと いっしょに、きれいなこえで うたを うたっていました。

あるひの よる。いつものように、おやゆびひめが ちいさなベッドでねむっていると、いっぴきの ヒキガエルが、まどから いえのなかに のびこみました。ヒキガエルは、ひるま きれいなこえでうたっている おやゆびひめに めをつけて、じぶんの むすこの およめさんにしようと、さらいにきたのです。ヒキガエルは、ねむっているおやゆびひめを ベッドごと まるのみにして、じぶんの すみかへ つれて行ってしまいました。

